

## 1-1 国際金融公社（世銀グループ）

International Finance Corporation : IFC<sup>1</sup>

## 1. 概要

## (1) 連絡先

本部：2121 Pennsylvania Avenue, N.W. Washington, D.C.  
20433 U.S.A.

Tel : +1-202-473-1000 URL : <https://www.ifc.org>

東京事務所：東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階  
Tel : 03-3597-6657

## (2) 設立

1956年7月設立

## (3) 加盟国

186カ国（日本は設立時より加盟）

## (4) 目的・機能

世界銀行グループの一機関として新興国市場および途上国の民間セクターに特化した国際開発機関。民間セクターの成長を梃に、貧困削減や格差是正を目指す。新興国市場や途上国の市場および事業機会の創出を目的に、資金や専門知識を提供する。

2. 組織・機構<sup>2</sup>

## (1) 総務会（Board of Governors）

- 最高意思決定機関。各加盟国任命の総務・同代理各1名（世銀の総務・同代理がIFCの総務・同代理を各兼務）。
- 新規加盟の承認、資本の増減、加盟国の資格停止等

<sup>1</sup> 特に断りがない限り、IFCのWeb pageに基づき作成。

<sup>2</sup> 世界銀行から一般管理等サービスを受けるが、基本的には別組織。

の重要事項を除き、その権限を理事会に委譲。

## (2) 理事会（Board of Directors）

- 設立協定および総務会の委任に基づき通常業務を運営。
- 構成：理事25名（世銀の理事・同代理が兼務）
- 議長：総裁

## (3) 総裁（President）および長官（Managing Director）

- 総裁は世銀総裁が兼任するが、実質的な運営は理事会が指名する長官が行う。
- 総裁：Ajay Banga（2023年6月就任）  
(マスターカードCEOなどを歴任)
- 長官：Makhtar Diop（2021年3月就任）  
(セネガル人。世銀副総裁<インフラ、アフリカ担当>、セネガル経済・財務相などを歴任)

## (4) 職員：約4,000名

## 3. 主要業務の概要

## (1) Investment

## (a) Loans

- マーケット水準の条件で供与。通貨は主要通貨建のほか70を超える現地通貨建融資の実績有。
- プロジェクトや企業への資金供給のほか、金融仲介機関を通じる転貸融資も行う。

## (b) Equity

- 事業会社への直接出資、ファンド経由の出資のいずれも行う。
- 出資比率は通常、5~20%。普通株、優先株等商品設計は柔軟に対応、公開株取得も対応可能。

## (c) Trade and Commodity Finance

- Global Trade Finance Programを通じて金融機関の貿易関連の与信をカバー。さらに、Global Trade

**Liquidity Program**（リスクシェリング）や **Critical Commodities Finance Program**（途上国へエネルギー、食糧等供給目的）などを活用して途上国における貿易活性化を図る。

#### (d) Derivatives and Structured Finance

- 市場リスク（為替、金利、商品市況等）をヘッジするためのデリバティブ商品、証券化、カバーード・ボンド等のストラクチャード・クレジット商品を提供。

#### (e) Blended Concessional Finance

- 融資と組み合わせ、譲許的な資金（ドナー・ファンド）を提供。

### (2) Advisory Services

- 企業、金融機関、産業界、政府と連携し、市場の創出や民間資金の動員を目的にアドバイザリーサービスを提供。
- 政府に対しては、良質なインフラおよび基礎的サービスへのアクセス向上に向け、官民パートナーシップ案件の組成を支援。ビジネス環境改善のための助言や改革遂行の支援も提供。

### (3) Mobilization

#### (a) Syndications

- IFC の国際機関としての優先的な債権者地位を享受できる A/B ローン（IFC 組成ローンにおいて、A ローンを IFC 持分とし、民間銀行はローンパーティシペーションにより B ローン持分に参加）のスキームを活用して外部資金を動員。
- パラレルローンや **Managed Co-Lending Portfolio Program**（将来の IFC の融資案件にあらかじめ一定額の協調融資をコミットするもの）等を通じ協調融資を組成。

#### (b) IFC アセットマネジメント社（AMC）

AMC は、IFC と外部投資家が新興国向けに共同で投資を行うためのプラットフォームであり、外部投資家資金の動員を目的として 2009 年に設立。AMC はファンド組成を通じて外部投資家に途上国の案件へのアクセスを提供し、途上国への長期資金の供給拡大の役割を果たす。現在に至るまで 13 のファンドに約 USD10billion の資金を調達。

#### (4) 民間セクター・ウインドウ (Private Sector Window : PSW)

- IDA 第 18 次増資で、脆弱・紛争の影響下にある途上国への民間投資促進を目的に創設。第 19 次、第 20 次増資後も継続中の支援メニュー。
- 世銀グループ (IFC・MIGA・IDA) として総枠 USD2.5 billion の民間向け投融資保証を IDA とのリスクシェアリングの仕組みの下で実施。下記 4 つのうち 3 つのファシリティを IFC が担う。
  - ① **Blended Finance Facility** ( IFCA ) USD1,200-1,400 million : IFC が通常よりも高いリスクの融資、出資、劣後融資等について PSW で保証。
  - ② **Local Currency Facility** ( IFCA ) USD500-650 million : 中小企業向けに融資する民間金融機関等に現地通貨建融資を供与すべく IFC が通貨スワップまたは補償契約を締結。
  - ③ **Risk Mitigation Facility** ( IFCA ) USD150-300 million : IFC が組成・参加するプロジェクトリスクに保証供与。IDA も同時に保証供与。
  - ④ **MIGA Guarantee Facility** ( MIGA ) USD500 million : MIGA プロジェクト保証に IDA が再保証供与。

## 5 IFC

### 4. 実績 (FY2023)<sup>3</sup> : USD43.7 billion

## 5. 参考

- 気候変動対応：2021年6月に、世銀グループとして発表された2021～25年を対象期間とする気候変動行動計画に基づき、IFCは新規承認プロジェクトについて、2023年7月以降は85%、2025年7月以降は100%を、パリ協定の目的と整合させつつ実施している。

## 6. 日本企業の海外事業との関連性

- ホスト国における高い開発効果（インフラ整備、資源等大型投資、新規製造事業等）が期待されるプロジェクトにおいて、IFCの出資機能を活用して、途上国プロジェクトにおける量的補完と現地におけるプレゼンスの確保が可能。
- 民間資金での調達が困難なプロジェクトにおいても、ストラクチャードファイナンス等の組成を通じた資金調達の選択肢が拡大。
- 日本企業に対して途上国プロジェクトに係る一般的な事業の見方に係るアドバイスなども提供。

---

<sup>3</sup> <https://www.ifc.org/en/insights-reports/annual-report/download>